

令和2年度 仙台市若林区区民協働まちづくり事業 企画事業  
実績概要報告書（令和3年2月26日現在）

No.	事業名	担当課	ページ
1	子育て支援推進ネットワーク事業	家庭健康課	1
2	若林区健康づくり区民会議	家庭健康課	3
3	若林区安全安心街づくり活動推進 モデル地区事業	区民生活課	5
4	若林区魅力発信事業 （若林わくドキまち歩き）	まちづくり推進課	12
5	わかばやし区 元気まつり （わかばやし区春らんまん代替事業）	まちづくり推進課	14
6	地域メディアの活用による 新しい地縁 創造プロジェクト （ラヂオはいらん若林）	まちづくり推進課	16
7	第27回 若林区合唱のつどい2020	まちづくり推進課	19
8	地域資源活用事業 六・七郷堀サポーターズ	まちづくり推進課	21
9	若林区民ふるさとまつり	まちづくり推進課	23

今年度の広瀬川灯ろう流し“光と水とコンサートの夕べ”は新型コロナウイルスの影響により中止（実行委員会への補助金の支出も無し）



# 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

## 1. 主催者（担当課）

家庭健康課

## 2. 事業名

子育て支援推進ネットワーク事業

## 3. 事業の概要

子育て支援活動をしている市民団体やボランティア区民、区内子育て支援機関等で構成する「輪っ！かばやし子育て応援団」による事業企画及び実施。事業内容としては、例年、 のびすく若林と共催で、若林区で初めて子育てする方を対象にした交流会「ウェルカムサロン」の開催、 乳幼児を育てている保護者の交流の場としての「育児サロン」の開催、 保護者のリフレッシュを目的とした「親子ふれあいひろば」の開催、地域子育て支援者研修会を実施していた。

## 4. 事業の目的・ねらい

育児の孤立化による育児不安・虐待防止を含め、子供の健やかな成長と安心して子育てしていけるような環境を作るために、子育て活動を行っている関係者・一般ボランティアが協力し合い育児支援を行っていくことで、より効果的な親と子の健康づくりや地域づくりを推進する。

## 5. 事業の成果・効果

- ・子育て中の親子が身近な場所で地域の子育て支援者と交流し、地域の子育て情報を得ることで、親子の孤立化を防止し、楽しく安定した子育てに役立っている。
- ・区民が主体的に子育て支援に取り組むことで、地域の活性化につながっている。
- ・子育て支援者や子育て支援機関との連携の円滑化につながっている。

## 6. 事業費（決算額）

（見込み額）

講師等謝礼	0
消耗品費	9,350
合計	9,350

## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和2年4月	定例会および今後の活動について、当面の間中止の旨、応援団メンバーに通知
令和2年5月	団長・副団長・事務局打合せ 当課の事業の現状・方針等説明のうえ、事業見直しも含めた今後の活動の検討について提案
令和2年8月	育児サロン、年度内中止の方針を決定
令和2年9月	役員事務局会議
令和2年12月	臨時活動委員会
令和3年2月	役員事務局会議

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、育児サロン、イベント等は中止。
- ・地域子育て支援団体や保育所等関連団体とともに、サロンの開催など地域課題の解決に資する活動を長年展開してきているが、活動のための各種調整の大部分を当課が担ってきているため、団体としての主体的な活動とは言い難いという状況があった。また、子育て支援施設の増加に伴い、内容が重複する事業の実施となっている等、見直すべき点もみられる事業であったため、役員事務局会議などで、応援団の位置づけ、今後目指すべき子育て支援ネットワークの在り方等について検討、合意形成を行った。

## 9. 今後の事業の目標・展開等

今後の方向性として、応援団メンバーは、従来地域のなかで活躍されている方達であり、さらにこれまでの活動を通して培ってきたネットワークやスキル等をいかしていただき、応援団を地域の子育て支援団体のひとつ、自主的な活動という位置づけに方向転換する。定例の育児サロン3か所については、担当を担ってきたメンバーの思いにできる限り沿いながら、関係機関等との連携により、地域に根差し、実情に即したサロン活動を目指し、地区担当保健師による地区保健活動と連動させて支援し、再編を行う。

令和2年度末から、令和3年度にかけて上記の方針で対応を行い、区民協働まちづくり事業（企画事業）としては、終結とする見通しである。

# 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

## 1. 主催者（担当課）

家庭健康課

## 2. 事業名

若林区健康づくり区民会議

## 3. 事業の概要

「仙台市いきいき市民健康プラン」の実施に向け、平成14年度に若林区内の市民団体や教育機関、関係団体で構成する「若林区健康づくり区民会議」を設置した。健康づくりの指針となる「若林区健康づくり行動計画」を策定している。現在、「第2期若林区健康づくり行動計画」のもと、区民協働の健康づくり事業として、健康づくりフェスティバルや健康づくり寸劇の制作・上演などによる健康づくり啓発を実施している。実施にあたっては、関係団体により構成されている委員と、若林区の健康課題の分析や区民が取り組みやすい事業展開について検討している。

## 4. 事業の目的・ねらい

「区民会議」と行政とが協働で区民の健康づくりの推進を図ることを目的とする。

## 5. 事業の成果・効果

若林区の健康課題を分析した結果を受け、令和元年度より重点項目に「高血圧予防」を掲げ、ライステージ毎での事業展開および重点地区の介入を会議で確認し、実施してきている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区民会議の開催は中止としたが、啓発に関しては、コロナ禍で感染予防に配慮しながらの実施方法や媒体を工夫しつつ、区民会議での指針に基づいた健康づくりを実施した。また年度後半からは区民会議の組織である「健康づくりフェスティバル」、および「健康づくり寸劇」の実行委員会を実施し、来年度に向けての事業の進め方について確認した。

また重点地区の六郷地区への介入は、六郷地区の健康づくり推進事業として実施した。

## 6. 事業費（決算額）

(見込額)

講師謝礼	0
その他報償費	0
消耗品	64,000
印刷費	0
食糧費	4,344
保険料	0
事務機器賃貸料	10,000
合計	78,344

## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
9月	第1回健康づくりフェスティバル実行委員会開催
10月	1) 仙台市スポーツデー マイタウンサッカー大会にて健康づくりグッズ,リーフレットの配布。 2) 若林区民健康ウオーク・ラジオ体操大会にて,わかちゃんとうげんきくん体操を実施。
12月	六郷中学校にて保健体育科(保健分野)の授業「生活習慣病予防 高血圧症予防編」を実施
2月	第2回健康づくりフェスティバル実行委員会開催
3月	第1回健康づくり寸劇 劇団員交流会を実施

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

区民会議の下部組織として体系化されていた推進部会が,近年「事務局が提示する取り組みに対しての意見交換のみ」となっており本会議と位置付けが重複していた。そのことを受け今回,推進部会を解消し,今後は「健康づくりフェスティバル」および「健康づくり寸劇」の健康づくり事業を各部会と位置づけ,来年度からは各部会の取り組みが,直接区民会議の場で共有できるよう変更した。

今年度はコロナ禍にあり,例年のような不特定多数の区民向けのイベントや,寸劇などの実施が困難であった。しかし今年度は「WITH コロナ」の視点で係員および実行委員や劇団員とともに啓発方法を話し合ってきており,新しい状況を考慮しての話し合いは有意義であった。今後もその観点での話し合いを継続する必要がある。

## 9. 今後の事業の目標・展開等

事業全体では,今年度に引き続き,高血圧予防・減塩を切り口とした取り組みを行う。そ

の際,コロナ禍を配慮しつつ広く波及させていくための媒体や健康教育のパッケージ化を進めていく必要がある。

六郷地区の健康づくり事業は,仙台市実施計画(令和3年~5年度)に掲載予定であり,地区のあらゆる世代を対象として生活習慣病改善のための取り組みを継続して展開していく。

# 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

## 1. 主催者（担当課）

区民生活課

## 2. 事業名

若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業

## 3. 事業の概要

安全安心の地域づくりを効果的に推進するため、モデル地区に指定するエリアを抽出し、町内会（連合町内会・単位町内会）を中心に区内の学校や各種団体、区、警察などの機関が連携し、2ヶ年度にわたり事業を展開する。

令和元年度より実施するモデル地区については、薬師高砂堀通り周辺地域をモデル地区として防犯に関する事業を展開する。

## 4. 事業の目的・ねらい

仙台市安全安心条例に基づき、区・警察・消防などの関係機関が連携し総合的な支援を行い、区民と一体となって地域力を高めること、市民が安全に安心して暮らせる住みよい街の実現を目指すものである。

当該事業におけるモデル地区の指定については過去連合町内会単位で展開していたが、ピンポイントな地域のネットワークづくりを重点とした事業に注力するため、前回（平成29～30年度）からこれに捉われない地区選定を行っている。

今回のモデル地区は、仙台市営地下鉄東西線の開発と並行して整備された薬師高砂堀通りを中心とし、会員の構成は周辺の町内会、防犯関係団体、学校機関が軸となっている。

同通りは本市が当該地下鉄の開業に合わせ施策した「東西線沿線まちづくり基本方針（改定）」において、地下鉄薬師堂駅前地区と若林区役所周辺地区が一体となり、当区を中心となる街区形成に必要なものと位置づけられている。また、当該地域は仙台市実施計画（H28～30）において、「若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業」として各種事業が実施された経緯がある。

一方、同通りは近隣学校の通学路に指定されているが、この間不審者事案が発生し、近隣の学校や町内会より防犯に関する相談や要望が当区に寄せられており、当該地域における防犯に対する不安や関心が高いものと思慮されることから、上記の街づくり、賑わいづくりの形成を土台から支えるものとして本事業を位置付け、当該地域において展開するものである。

## 5. 事業の成果・効果

本事業は昨年度令和元年7月29日(月)に発会式、続いて令和元年10月28日(月)に第1回全体会議が行われ、今年度年間活動計画の承認を得ている。

令和元年度に引き続き、令和2年度についても本会で承認を経た事業について実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の現況を踏まえ、書面表決により今年度は一切の事業を次年度へ延期することとなった。

## 6. 事業費(決算額)

### 見込額

下記今年度配当額については、事業延期により全額未執行である。

報償費(講師謝礼) 20千円

消耗品費 515千円

印刷製本費 128千円

食糧費 24千円

## 7. 実施状況

別紙 添付資料1のとおり

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

## 9. 今後の事業の目標・展開等

当該年度が事業中止となったことにより、次年度にあっては改めて関係性強化のため、各種事業の展開により関係団体との連携を深めてまいりたい。



## 令和2年度 薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会活動計画

番号1～2については会長、副会長との協議により開催中止とした。  
また、番号3以降の実施についても本会書面表決により全て中止とした。

番号	事業名	月 日	内 容
1	安全安心パレード	5月9日 (土)	南小泉中学校健全育成協議会主催のパレードへの参加
2	防犯講座	6月	児童の犯罪被害防止に関する講座
3	防犯パトロール	7月31日 (月)	南小泉地区町内連合会主催の活動への参加
4	会報第2号発行	8月下旬	・令和2年度の活動内容を地域や団体に周知 (町内会、各学校、周辺店舗等)
5	令和2年度 第1回幹事会	9月	・令和2年度第1回全体会議の開催時期、及び内容を決定する。 令和2度前期活動の検証と後期活動計画の確認、時期、内容等修正の有無について協議する。
6	令和2年度 第1回全体会議	10月初旬	・令和2年度前期活動実績報告と後期活動計画の説明・承認
7	街頭啓発活動	10月 日 ( )	・全国地域安全運動期間(10月11日～10月20日)における防犯啓発活動 ( 事務局提案)
8	令和2年度 第2回幹事会	2月	・令和2年度第2回全体会議の内容について協議する。 ・年間活動計画の検証と今後の持続的な取り組みについての検討
9	令和2年度 第2回全体会議	3月上旬	・年間の活動実績の報告と活動の総括を行う。 ・今後の活動方針について確認を行う。
10	会報第3号発行	3月下旬	・令和2年度の活動内容を地域や団体に周知 (町内会、各学校、周辺店舗等)
通年の取組			定期的な防犯パトロールの実施 防犯カメラ設置に向けた情報収集と意見交換 青色回転灯装着車両の運用検討 必要に応じ地域内に看板・横断幕等の掲示

## 令和3年度 薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会活動計画(案)

番号	事業名	月 日	内 容
1	安全安心パレード	5月	南小泉中学校健全育成協議会主催のパレードへの参加
2	防犯講座	6月	児童の犯罪被害防止に関する講座
3	防犯パトロール	7月下旬	南小泉地区町内連合会主催の活動への参加
4	会報第2号発行	8月下旬	・令和3年度の活動内容を地域や団体に周知 (町内会、各学校、周辺店舗等)
5	令和3年度 第1回幹事会	9月	・令和3年度第1回全体会議の開催時期、及び内容を決定する。令和3年度前期活動の検証と後期活動計画の確認、時期、内容等修正の有無について協議する。
6	令和3年度 第1回全体会議	10月初旬	・令和3年度前期活動実績報告と後期活動計画の説明・承認
7	街頭啓発活動	10月	・全国地域安全運動期間(10月11日～10月20日)における防犯啓発活動 (事務局提案)
8	令和3年度 第2回幹事会	2月	・令和3年度第2回全体会議の内容について協議する。 ・年間活動計画の検証と今後の持続的な取り組みについての検討
9	令和3年度 第2回全体会議	3月上旬	・年間の活動実績の報告と活動の総括を行う。 ・今後の活動方針について確認を行う。
10	会報第3号発行	3月下旬	・令和3年度の活動内容を地域や団体に周知 (町内会、各学校、周辺店舗等)
通年の取組			定期的な防犯パトロールの実施 防犯カメラ設置に向けた情報収集と意見交換 青色回転灯装着車両の運用検討 必要に応じ地域内に看板・横断幕等の掲示

令和2年8月25日

薬師高砂堀通り周辺地区

(写)

安全安心街づくりの会

会員各位

薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会

事務局

**「薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会」**

**令和2年度活動の中止並びに令和3年度への事業継続について(書面表決)**

残暑の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本会の活動につきましてはこの間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各種活動の実施を見合わせている所でございます。

このことについて、去る8月20日、本会会長及び副会長と事務局において、今後の事業継続に係る方向性について打合せを行わせて頂きました。その結果、新型コロナウイルス感染症は現在も全国的に感染者が新たに発生し、また本市においても感染者の発表が日々なされていること、未だ終息の兆しが見えない現状を鑑みるに、会員皆様の安全の確保が保障できないとの申し合わせにより、この度、今年度の活動一切を取りやめ、令和3年度に本事業を継続する旨のご提案を会員の皆様にお諮り致したく存じます。

つきましては、別紙により9月4日(金)まで、ファクス等によりご回答下さいますようお願い申し上げます。

記

・参考資料

この度の決定に至る経過、及び令和3年度の事業計画につきましては、別添「R2.8.20議事録」及び「令和3年度 薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会活動計画(案)」を参照願います。

薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会 事務局

若林区区民生活課(担当:齋藤)

電話:022-282-1111(内線6143)

ファクス:022-282-1152

電子メール:[eiji\\_saitou\\_1@city.sendai.jp](mailto:eiji_saitou_1@city.sendai.jp)

添付資料3

(別紙)

9月4日(金)までにご回答願います

「薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会」  
令和2年度活動の中止並びに令和3年度への事業継続について(書面表決)

令和2年8月 日

薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会 事務局

担当：若林区区民生活課 齋藤 行

FAX:022-282-1152

電話:022-282-1111(内線6143)

貴団体名： \_\_\_\_\_

(1)本会における令和2年度活動の中止並びに令和3年度への事業継続について

承認します ・ 承認しません

(2) 来年度の活動や本会運営等に関し、ご意見等ございましたらご記入願います。

ありがとうございました。

## 添付資料 4

(写)

令和2年9月10日

薬師高砂堀通り周辺地区

安全安心街づくりの会

会 員 各 位

薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会

事務局

### 「薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会」

#### 令和2年度活動の中止並びに令和3年度への事業継続（書面表決結果）について

初秋の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般会員の皆様にお願ひ致しました標記の件につきましてご報告申し上げます。

会員26団体の内、16団体よりご回答を頂き、この16団体全ての方よりご承認の回答を頂きました（不承認はありませんでした）。

よって、本事業について今年度は中止とし、令和3年度への事業延長とさせていただきます。

今後とも会員の皆様におかれましては何卒本事業にご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会 事務局

若林区区民生活課（担当：齋藤）

電話：022-282-1111(内線 6143)

ファクス：022-282-1152

電子メール：[eiji\\_saitou\\_1@city.sendai.jp](mailto:eiji_saitou_1@city.sendai.jp)

## 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

### 1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会(事務局 若林区まちづくり推進課)

### 2. 事業名

若林区魅力発信事業(若林わくドキまち歩き)

### 3. 事業の概要

若林区への愛着や興味を促進させるとともに、地域の魅力を体感できるイベントとして、まち歩きを実施する。

### 4. 事業の目的・ねらい

若林区の歴史的な街並み等の他区とは一味違う魅力を多くの方に知ってもらい、興味・関心を持っていただくためのまち歩きである。また、若林区内の方にも普段は気に留める事のない場所をまち歩きに参加していただくことで、新たな若林区の魅力を発見していただきたい。

### 5. 事業の成果・効果

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を集めての開催は中止とした。その為、今年度の活動は、来年度に向けた検証ということで、コロナ禍でも安心して開催ができる方法及び新しい開催地域を見つける活動を行った。11月に行った六丁の目でのスタッフフィールドワークでガイドスタッフのフェイスシールド着用、ガイドの際はインカム・イヤホンを使用して距離をとった状況でも聞こえるようにするなど、新しい形でのまち歩きテストができた。また、六丁の目でのまち歩きは歴史的な見どころが多く、本番の実施も考えられる地域だと知れた。

### 6. 事業費（決算額）

53,060 円（仙台市補助金 100,000 円）(未確定)  
フェイスシールド代...2,860 円 保険料...600 円  
インカム・イヤホンレンタル代...39,600 円  
感染症対策消耗品代...10,000 円

## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和2年 5月20日	第1回 若林わくドキまち歩き企画会議
7月15日	第2回 若林わくドキまち歩き企画会議
9月16日	第3回 若林わくドキまち歩き企画会議
11月7日	六丁の目スタッフフィールドワーク 経路：六丁の目駅 白山神社 蒲町中学校 雷神社 弥助の碑 太子堂孝子藤生碑 草太
11月18日	第4回 若林わくドキまち歩き企画会議
令和3年 1月19日	第5回 若林わくドキまち歩き企画会議

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

インカム・イヤホンでのガイドではノイズが気になり聞き取りづらい時があるなど、本番での使用は難しい為、違う形でのガイド方法を考えなければならない。

## 9. 今後の事業の目標・展開等

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一度もまち歩きを開催できなかったため、感染症予防対策をしっかり行いまち歩きを開催したい。  
また、これからの若林わくドキまち歩きを続けていく上で、次世代のメンバーへの継承も必要になる。その為、今まで通りのまち歩きだけではなく、外部団体との連携を考えるなど、新たな形での開催をしていきたい。  
今後も、若林区の魅力を更に発信できるよう、興味関心が引くコンテンツを創出していける事業にする。

## 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

### 1. 主催者（担当課）

若林区連合商店会 春らんまん実行委員会 （まちづくり推進課）

### 2. 事業名

わかばやし区 元気まつり（春らんまん代替事業）

### 3. 事業の概要

地元13町内会での回覧や南小泉小学校・中学校の協力など、地域密着型で約30年間継続して開催してきた春らんまんを新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされたが、みんなが笑顔で集まれるような時期をみて春らんまんの代替イベントの元気まつりを計画したが、新型コロナウイルス感染が収束せず断念した。

### 4. 事業の目的・ねらい

若林区の活性化と地域住民との交流  
仙台市内で唯一の連合商店会という組織を活用し集客イベントを開催することで地域の活性化を図る。

商店会活動の活性化  
新型コロナウイルス感染拡大により、対面販売や人とのふれあいを大事にしてきた個人経営の商店や飲食店の会員店は存続の危機に陥っており、今回のイベントや各商店会のイベントを通じて、商店会の存続と活性化を図る。

### 5. 事業の成果・効果

4月の春らんまん中止決定後もイベント開催に向けて実行委員会を継続して話し合いを重ねることができたため、これからの地域経済や地域のコミュニティについて、連合商店会として、商店会が力を合わせて地元の活性化に対応する体制をつくることできた。

### 6. 事業費（決算額）

28,628円（うち仙台市補助金28,628円）  
チラシ印刷費 24,680円  
通信費 3,948円



## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和2年1月24日	実行委員・連合商店会役員 合同会議。(出席者 8名) 春らんまん開催確認とプログラム内容検討
2月4日	チラシ原稿の校正・データ作成を庄司陽さんに依頼する。
2月5日	チラシ原稿データを印刷業者宛送信する。(坂水)
2月14日	実行委員会。(出席者7名) 新型コロナウイルス感染症の国内流行の状態を考え、イベントを開催した場合での関係者に及ぶ影響が大きすぎるので実行委員全員の意見で中止を決定する。
3月18日	若林区まちづくり推進課へ春らんまん中止の報告 新型コロナウイルス感染拡大が終息して、みんな笑顔で集まれるようなイベント開催が可能な状況になったら今年度内に同等のイベントを開催したい。
3月28日	第30回春らんまん中止の報告と今年度内にイベントを開催できた時のご協力を来賓他関係者に郵送する。(47通)
5月19日	実行委員会・連合商店会役員 合同会議。(出席者8名) 春らんまん代替事業として計画していた、わかばやし区 元気まつりの開催を諦める。

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

新型コロナウイルス感染拡大によりイベント開催を断念することになりましたが、来年度開催時に新型コロナウイルス感染拡大阻止になるように観客用椅子を放して設置やビンゴカード発行枚数の制限、3密の原因になる餅まきの中止など、来場者や関係者の安全性を考えて準備する。

## 9. 今後の事業の目標・展開等

今年度は残念ながら「春らんまん」を開催することができなかったので、来年度に向けて各商店会が活動を持続しながら「春らんまん」開催に向けて準備していきたい。

連合商店会として力を合わせ2年分の賑わいを地球の皆様に喜んでいただけるように頑張りたい。

1月の春らんまん実行委員会会議により令和3年度も開催中止となった。

## 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

### 1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

### 2. 事業名

地域メディアの活用による創造プロジェクト（「ラジオはいらいん若林」制作・放送）

### 3. 事業の概要

地域の魅力と情報を発信するため、区民スタッフがコミュニティFM（ラジオ3）の協力を得ながら、番組制作及び放送を行う。

### 4. 事業の目的・ねらい

区民とコミュニティFM放送との協働・連携による地域情報番組づくり及び区民に向けて公開放送を通して広く区民のコミュニティ意識を高め、さまざまな角度から地縁に対する再認識とともに進めるまちづくりへの気運醸成を図る。

### 5. 事業の成果・効果

今年度は、4回の全体会議を開催し、7月4日から3月27日まで18の放送番組を作成した。番組の内容は、地域で活躍する区民の紹介、商店街の活動等をはじめ、若林区やまちづくり協議会の行事について発信するなど、様々な角度から、まちづくりへの醸成を図るための番組制作に努めた。

広く情報発信を行うことで、区内のまちづくり活動を知るきっかけ作り、番組を通して地域や団体が繋がっていくための架け橋としての役割が果たせた。企画から取材、そして放送と番組制作の中で、区内で活動している様々な人と関わり、一緒にまちづくり活動を盛り上げていくことで、地域コミュニティの活性化に貢献できた。

### 6. 事業費（決算額）

848,438円（仙台市補助金 950,000円）（未確定）

委託料...847,638円 食糧費...800円

## 7. 実施状況

実施時期		実施内容					
5月20日	第1回全体会議(7月~9月の放送内容の決定)、取材方法等の確認						
8月26日	第2回全体会議(10月~12月の放送内容の決定)、取材方法等の確認						
11月25日	第3回全体会議(1月~3月の放送内容の決定)、取材方法等の確認						
2月24日	第4回全体会議 1年の振り返り、次年度の企画に関する方向性等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>放送期間：令和2年7月4日~令和3年3月27日</li> <li>本放送：第1・第3土曜日午前10時~10時30分</li> <li>再放送：第2・第4土曜日午前10時~10時30分</li> <li>制作本数：18本</li> </ul>							
No.	放送日	テーマ		No.	放送日	テーマ	
1	7/4 7/11	区民メンバートーク		10	11/21 11/28	食べ歩きゲーム体験イッピンハンター	
2	7/18 7/25	荒町エリア発信隊		11	12/5 12/12	仙台いも工房りるぽて	
3	8/1 8/8	荒浜里海 Café けのひ		12	12/19 12/26	若林区まちづくり協議会 若林区の今とこれから	
4	8/15 8/22	多世代交流複合施設アンダンチ		13	1/2 1/9	声の年賀状 ・平成23年生まれの小学生 ・佐藤栄徳氏(若林区民まつり実行委員長) ・佐々木淳一氏(若林区長)	
5	9/5 9/12	穀町ビール		14	1/16 1/23	仙台弁いろはかるたカレンダー	
6	9/19 9/26	認定NPO法人あかねグループ		15	2/6 2/13	荒町商店街のリモート合唱企画	
7	10/3 10/10	2020 せんだいわらアート		16	2/20 2/27	産直広場ぐるぐる	
8	10/17 10/24	わかばやしふれあい朝市		17	3/6 3/13	七郷小学校の防災 避難所運営 3.11	
9	11/7 11/14	仙台箏箏伝承館リニューアルオープン		18	3/20 3/27	(予定)荒浜地区の集団移転跡地利活用 ~体験型観光果樹園~	

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>現在、毎週土曜日(第2及び第4が再放送)の10時から10時30分の時間帯で放送しているが(携帯やパソコンでも聴ける)、リスナーに関心をもってもらうためには、魅力ある番組づくりとする必要がある。しかしながら、番組テーマの制作は市民スタッフ数名の無償ボランティアで運営されており、取材先の発掘、交渉、訪問等に限界があり時間を要する放送テーマづくりが難しい状況である。</p>
--

## 9 . 今後の事業の目標・展開等

今年度は、荒町発信隊メンバー 1 名が新たに市民スタッフとして加わったが、これからも多方面で活躍している区民の新規加入を働きかけていきたい。

また、これまでの取材を中心とした番組編成に加え、新たな切り口による地域の課題やまちづくりの取り組み等について、リスナーの関心を引く魅力ある番組編成に務めていく必要がある。

## 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

### 1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

### 2. 事業名

第27回「若林区合唱のつどい2020」 **中止** 令和2年7月4日（土）若林区文化センター

### 3. 事業の概要

若林区文化センターを会場として、区内の小学生から大人までが参加する合唱の発表会を若林区合唱のつどい実行委員会（合唱連盟わかばやしと若林区まちづくり協議会で構成）を組織し開催を予定していたが、令和2年4月に発せられた新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言、仙台市のガイドライン（生活の維持に必要なものを除く、全ての事業中止又は延期）等に従い、感染リスクの高い合唱のつどいは中止とした。

### 4. 事業の目的・ねらい

若林区文化センターを文化発信の拠点として、若林区内の小・中・高の合唱団や吹奏楽部、「合唱連盟わかばやし」加盟の団体等が参加し、合唱を主体とした音楽祭を開催することで、地域の方々との触れ合いや交流を図るとともに、地域文化活動の活性化を目指すものである。

### 5. 事業の成果・効果

新型コロナウイルス感染拡大防止から事業中止

### 6. 事業費（決算額）

0円

### 7. 実施状況

令和2年3月 運営委員会  
令和2年4月 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、仙台市の事業及び施設等の取扱いに関するガイドライン等により合唱のつどい中止

#### 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、合唱活動に起因する飛沫感染等多くの問題があることから中止とした。令和3年度においては、感染防止策を講じ実施する方向で検討しているが、例年同様の開催は困難な状況である。

不特定多数の者が参加し、合唱活動を行うことは多くの感染リスクを伴うことから、公募により結成する区民合唱団「宙」の参加は困難であり、また小中高生の参加・事前練習・有観客等についても慎重な判断を行う必要がある。

なお、「合唱のつどい」の実行委員会の中心的役割を担っている「合唱連盟わかばやし」の高齢化が進んでおり、今後も継続していくためには、若年層の参画が必要である。

#### 9. 今後の事業の目標・展開等

課題等を踏まえ、持続可能な取り組みを基本としながら、若林区内に存する文化活動の継承やまちづくり等のため、幅広い層に関心をもってもらえる働きかけが必要と考えている。

## 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

### 1. 主催者（担当課）

まちづくり推進課

### 2. 事業名

地域資源活用事業（六・七郷堀サポーターズ）

### 3. 事業の概要

参加メンバー一人ひとりの知識や経験を活かし、六・七郷堀の歴史や環境・景観、暮らしとの関わりを調べ、堀の役割と大切さ・その魅力を多くの人と分かち合う方策を企画実行する。「六・七郷堀サポーターズ」は、市民の視点から身近な水辺空間である六・七郷堀について考えるボランティアとして平成18年度に公募を行い、以降随時参加者を募集、令和3年3月現在の登録メンバーは10名。

建設局河川課（河川管理者）及び農林土木課（水路管理者）の協力を得て、円滑かつ効果的な事業の実施している。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、集まったの会議や、参加者を集めてのイベント開催が困難であるため活動を休止とした。

### 4. 事業の目的・ねらい

環境、景観、歴史といった側面で若林区の貴重な財産である六・七郷堀を活かし、まちづくりや地域との連携に結びつく事業を行う。

### 5. 事業の成果・効果

今年度は新型コロナウイルスの影響により活動を休止とした。堀DAYマップについては、子ども達が地域へ興味をもつきっかけにしてもらうことを目的として、区内小中学校へ配布した。

### 6. 事業費（決算額）

11,664円 水槽消耗品費

## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和2年4月17日	第1回定例会 【新型コロナウイルス緊急事態宣言により中止】 併せて、今年度の活動について中止にすることを六・七郷堀サポーターズのスタッフへ連絡。
令和3年3月8日	若林区内小中学校へ堀DAYマップ送付

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

近年の活動はイベント活動が中心で、イベントを行うことが目的となっており、六・七郷堀を活かしたまちづくり、地域との連携などの広がりがある活動には至っておらず、事業の硬直化が課題となっていた。一度立ち止まって事業を見直すことも必要だと感じており、六・七郷堀サポーターズの事業は今年度で終了を予定している。

## 9. 今後の事業の目標・展開等

サポーターズ事業で好評だった一部のイベントは、別事業で継承していき、今までサポーターズとしてご協力いただいたスタッフの方には、堀の専門家として協力してもらおうなどの新しい形を検討していく。また今後、六・七郷堀サポーターズが自立して活動を行っていく意思があるのであれば、フォローしていく。



# 令和2年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

## 1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

## 2. 事業名

若林区民ふるさとまつり

## 3. 事業の概要

区民による実行委員会が主体となって、区民の総合的な交流の場を提供し、地域の交流推進と活性化を図る。区民の文化芸術活動の発表（ステージパフォーマンス、わたしの作品展、学校じまん）や地域資源を活用した企画（ザリガニ釣り、ザッコすくい、堀なか探検、伝統工芸館、弟子入り体験教室、若林の文化財展）、地元物産の販売などを行う。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、たくさんの人が集まるイベントは感染リスクが高く、また十分な感染防止対策を講じることが困難であるためまつりの開催を中止とした。

## 4. 事業の目的・ねらい

若林区内における総合的な交流の場を提供することにより、区民意識の高揚や地域の活性化を図るとともに、区民協働によるコミュニティづくりを目指す。

## 5. 事業の成果・効果

### 若林区民ふるさとまつりポスター・写真展の開催

今年度は新型コロナウイルスの影響を受けてまつりを中止としたが、来年度のまつり開催に向けて機運を高めるために、ポスター・写真展を開催した。ポスター・写真展は、第1回目から第31回目までのまつりポスターと写真を展示した。

展示会場には、メッセージカードを設置し、来場者にコメントを書いてもらいパネルに貼ってもらうブースを設けた。また、パネル展の開催に合わせて、来年度のまつりを告知するPRポスターも製作し、パネル展の会場に掲示したほかに、区内各市民センターへも配布した。

まつりが中止となってしまう、結果として地域活性化へとつながるような、交流の場を提供することはできなかったが、パネル展を通じて、来年度の開催に向けての足掛かりを作ることができたと思う。実行委員会のほか、各班まつり会議についても継続的に行い、来年度に向けてどうしたら開催できるかの話し合いを重ねることができた。

## 6. 事業費（決算額）

見込み額 943,804 円（消耗品、備品購入費） 来年度の開催に向けての、新型コロナウイルス感染予防対策グッズや備品購入費に支出した
--

## 7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和2年	
5月15日（金）	第1回実行委員会
7月17日（金）	第2回実行委員会
9月18日（金）	第3回実行委員会
10月23日（金）	第4回実行委員会
12月1日（火）	第5回実行委員会
12月1日（火）～ 12月14日（月）	若林区民ふるさとまつりポスター・写真展（若林区役所）
12月15日（火）～ 12月21日（月）	若林区民ふるさとまつりポスター・写真展（若林区文化センター）
令和3年	
2月16日（火）	第6回実行委員会
その他班会議 ・庶務班会議2回      ・広報班会議5回      ・特別企画班会議2回	

## 8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

新型コロナウイルス感染予防対策をいかに講じて、来場者が安心して楽しめるおまつりとすることができるかが来年度の開催に向けての大きな課題である。会場のレイアウトについても、バリケードで会場を囲って、入場制限を行ったり、来場者に対して、検温と入場記録の実施をしたりと、感染リスクが伴うものについては、一つ一つ分析をして、対応が必要である。当日のスタッフも例年よりも必要になってくることが想定されるため、どのようにして人手を集めるかが課題である。
---

## 9. 今後の事業の目標・展開等

先が読めない中ではあるが、来年度のまつり開催に向けて、課題を一つ一つ乗り越えていき、無事に開催できるよう準備を進めていきたい。従来のような密集した中でわいわいとやるイメージではなく、人やモノを分散させて、少ない人数でも楽しめる新しい形のお祭りを作り上げていきたい。
--